



ばいりん

令和8年7月号

横浜市立梅林小学校

TEL 045-773-0341

FAX 045-772-4862



学校運営協議会にて

校長 安達 修久

陽が出ると蒸し暑さが強く感じられますが、朝夕には涼しい風が吹き、今年は梅雨らしい梅雨の時季になっていました。プールに入るとまだ気持ちよさより寒さが勝っていたようで、熱中症の心配はなかったものの、プールサイドではタオルにくるまっている子の姿が見られていました。

6月13日の土曜参観では、多くのご家族の方に来校いただきありがとうございました。同じ日に、学校運営協議会を行いました。この会は、地域、保護者、学識経験者の方々に委員を務めていただき、学校の教育活動にご意見やご協力をいただき、今後に向けた改善を図っていこうとするものです。授業参観を行っていた3校時に、委員のみなさんにも各教室をまわって授業を見ていただき、子どもたちの姿や学校の様子をご覧いただき、その後会議室で協議会を行いました。

その中で、あいさつが話題になりました。朝、登校班で集まる時などに、保護者のみなさんが子どもたちとあいさつをしてくださっていること。門のところでは、学援隊の方々が見守りを行いながらあいさつをしてくださっていること。校長、副校長もあいさつをしています。児童の委員会主体の活動で、「あいさつデー」と称してあいさつ運動が行われていること。昨年度の12月には、中学生が門のところへ来て、あいさつをしてくれていたこと。

「あいさつを交わすことは、相手の存在を認めているということ」という話がありました。あなたはあなた、私は私。お互いあいさつし合うことで、お互いの存在を認め合っている、ということだそうです。なるほどそういえば、あいさつをした相手からあいさつが返ってくるとうれしい。こちらはあいさつしたのに相手から返ってこない、何だか寂しい、悲しい。この寂しさ悲しさは、認めてもらえない悲しさなのかも。

学校から今年度の方針を話す中で、「いじめ防止基本方針」についても説明しました。昨年度末に改訂して、今年度はじめに懇談会でも紹介しました。この中で、あいさつを「いじめを防止する学校風土づくり」の手立ての一つとして位置付けていることを話しました。

学校で力を入れてあいさつに取り組むことで、子どもたち同士のよいかかわりづくりに努めていきますが、日常生活の中で習慣として身に付けていくには、ご家庭でも取り組んでいただくことが大切です。ぜひご家庭でも、あいさつを大事にして奨励していただければと思います。

また委員のみなさんには、本校の今年度の方針の一つとして、特別支援教育に力を入れていることも話しました。個に応じた学びを行う場として、すでに個別支援学級(5組)、特別支援教室(プラムルーム)がありますが、さらに今年度から「校内ハートフルルーム(仮称)」を設置しています。利用につきましては、ぜひ学校にご相談ください。児童1人1人が安心して学校生活を送り学ぶことができる場を、学校としていっそう工夫していきたいと考えています。